

キャリア・パスポート（例示資料案）
高等学校

高校生のみなさんへ

「キャリア」の意味について触れ、共通認識をもつ必要があるのではないかと。

平成23年中教審答申より（一部改）

人は、他者や社会のとのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもありますが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を積み重ねながら取り組んでいます。

人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものです。

このように、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところです。

これからのますます変化の激しい社会の中で、主体的に自らの可能性を発揮し、よりよい社会や世界と幸福な人生の創り手となっていくために、みなさんには、キャリア形成の視点から、以下の能力をさらに伸ばしていくことが求められています。

具体的な行動や態度のレベルで項目を例示する必要がある。またはチェックリストの作成・併用の必要があるのではないかと。

《例》は、『高等学校キャリア教育の手引き』p.74の項目を引用

《高校生活でさらに伸ばすべき能力》

【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

《例》

- ・友達や家の人の意見を聞くとき、相手の立場を考慮して、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。
- ・自分の考えや気持ちを整理し、相手が理解しやすいよう工夫して、伝えようとする。
- ・人と何かをするとき、自分がどのような役割や仕事を果たすべきか考え、分担しながら、力を合わせて行動しようとする。

【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

《例》

- ・自分を振り返り、長所や短所を把握して、良いところを伸ばし、悪いところを克服しようとする。
- ・自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず行動を適切に律し、それに取り組もうとする。
- ・不得意なことでも、自ら進んで、取り組もうとする。

【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力

《例》

- ・調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を収集し、信ぴょう性が高く、かつ、必要な情報を取捨選択しながら活用できる。
- ・何か問題が起こった時、次に同じような問題が起こらないようにするために、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫ができる。
- ・何かをする時、見通しをもって計画し、評価・改善を加えながら行動ができる。

【キャリアプランニング能力】

「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

《例》

- ・学ぶことや働くことの意義について考えたり、様々な働き方や生き方があることを理解したり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている。
- ・自らの将来について具体的な目標をたて、社会の現実を視野におさめながら、その実現のための方法について考えている。
- ・将来の目標の実現に向けて具体的な行動を起こしたり、それを振り返って改善したりする。

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの能力を自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、高校生活を見通したり振り返ったりしながら、学びの履歴を積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。

学期を見通し、振り返る

1～3(4)学年、1～3学期(2学期制含む)について統一の様式を想定しています。

○年 ○学期

記入日 年 月 日

○今学期の間に、特に心がけて取り組もう(自分なりに努力してみよう)と思っていることをまとめよう。

<p>何に取り組むか (授業)</p> <p>全ての教科を網羅的に書くものではない。どの教科を書くかで志向が表れる。</p> <p>特定の教科について書く。または、教科共通で取り組むことを書くことでよいのではないかな。</p>	<p>どのように取り組むか</p> <p>「頑張れない」「頑張っても駄目だと思う」生徒にも取り組みやすくする表現の工夫ができないか。</p>
<p>(学校行事)</p> <p>事前指導において、特に今学期に何があるのかを生徒に周知し、イメージを持たせる必要がある。【留意事項で整理】</p>	
<p>(部活動 校外活動 家庭 資格等)</p> <p>生徒の経験や気づきに対する評価であってはならない。あくまでも、生徒の「心の動き」を生み出すための一つのきっかけである。</p>	<p>あえて「保護者からのメッセージ」を入れないことで、中学校段階との違いを打ち出してはどうか。生徒の学びや気づきの深まり・広がりを記入する欄があるとよい。</p>
<p>先生からのメッセージ</p> <p>ホーム担任以外、例えば部活動顧問などからのコメントがあってもよいのではないかな。</p>	<p>先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと</p> <p>教師が生徒の反応を予期しながら言葉をかけることに、「教師が対話的に関わる」ことの意義がある。</p>

記入日 年 月 日

○今学期を振り返って、自分なりに取り組んできたことや、よかったと思うことをまとめよう。

<p>何に取り組んできたか (授業)</p>	<p>どのような点がよかったと思うか</p>
<p>(学校行事)</p>	
<p>(部活動 校外活動 家庭 資格等)</p>	
<p>先生からのメッセージ</p>	<p>先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと</p>

一年を見通し、振り返る

1～3（4）学年について統一の様式
を想定しています。

○年

案 1

記入日 年 月 日

○1年のはじめに、自分のどんな力を伸ばしたいか（高校生活でさらに伸ばすべき能力を参考に）考えよう。

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
<p>考える際には、「高校生のみなさんへ」を見返し、基礎的・汎用的能力を意識することが大切である。</p>			
<理由>	<理由>	<理由>	<理由>
<p>なぜその力を伸ばすことにこだわるのかを今一度振り返り、整理することに意味があるのではないか。</p>			

記入日 年 月 日

○1年間を振り返って、一番心に残っていることをまとめよう。

何が (授業)	どうして(理由)
(行事)	
(部活等)	

○1年間を振り返って、自分自身の成長をまとめよう。

記入日 年 月 日

成長できたところ	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
成長したいところ				

○将来の自分自身を想像しよう。

記入日 年 月 日

1年後の私	どんなふうになっていたいか	そのために今から何をするか
30歳の私		

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------

案 2

記入日 年 月 日

○1年のはじめに、自分のどんな力を伸ばしたいか（高校生活でさらに伸ばすべき能力を参考に）考えよう。

伸ばしたい力 ①	その理由
②	

基礎的・汎用的能力の4つの箱のすべてについて、伸ばしたい力を設定するのが難しい場合も想定されるため、表紙裏の解説を参考にはしながらも、特に意識して伸ばしたい力を2つほどにしぼってはどうか。

○1年間を振り返って、自分自身の成長をまとめよう。

記入日 年 月 日

成長できたところ ①	②
成長したいところ ①	②

振り返りにしても、上記と同じ理由。

クラス内の人間関係が上手くいっているということが前提にはなるが、友人からのコメントも生徒の背中を大きく押してくれるものにはならないか。

案 3

友人からのメッセージ	保護者からのメッセージ この用紙を保護者に見てもらおうこと自体に意味があるのではないか。
先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

案 4

()からのメッセージ	友人、保護者、部活動の顧問等、メッセージをもらう相手を生徒が主体的に選ぶという工夫があってもよいのではないか。
先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

※なお、メッセージ欄の様式については、案1、案3、案4以外にも、その組み合わせによりいくつかのパターンが考えられます。

小学校から高等学校までを振り返る

教員側の進路指導も考慮すると、作成時期は卒業年次の1学期末ごろではないか。

○自分自身のこれまでを振り返って、「足跡」をまとめよう。

記入日 年 月 日

一番心に残っていること (小学校)	自分自身の成長にどのように影響したか
(中学校)	
(高等学校)	

○自分自身の「現在（今）」と「将来」についてまとめよう。

記入日 年 月 日

自分のよさ（自己PR）
卒業後の進路
将来、社会にどのように貢献していきたいか
将来、どういう生き方をしていきたいか

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------

※なお、メッセージ欄の様式については、いくつかのパターンが考えられます。（「一年を見通し、振り返る」様式案を参照）

※学校で活用している既存の様式があれば、そちらを活用してください。

他の学校行事とは異なり、働くことに関する活動については、別様式を想定しています。

就業体験・インターンシップについて（働くことに関して）

インターンシップまではいかない就業体験の記録もあってよいのではないかな。

(事前)

記入日 年 月 日

「働くこと」についての今の考え（「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか）

受入先

体験先選定の理由

どうしてその職場に行くのか、その理由を整理することが大切である。

就業体験・インターンシップを通じて、どんなことを得たいのか

試案様式のインターンシップでの自分の課題の「課題」がマイナスの印象をもたらす。

就業体験・インターンシップを通してなりたい自分のイメージ（どう成長したいのか）

記入日 年 月 日

(事後)

就業体験・インターンシップを学んだこと（気づいたこと、よかったこと、反省したことなど）

受入先から自分の将来に向けてどのようなアドバイスをもたらったか

「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）

事前・事後に「働くこと」そのものに関する同じ問いに向き合ってもらうことで、生徒自身が自己の変容に気づいてほしい。

今、考えている自分の進路（〇〇に進学・〇〇業に就職・迷っている）とその理由

辛口のコメントでも、指摘は本人にとっては早急に改善が必要な点であり、貴重なものとなる。

「迷っている」という表記がよい。体験が揺さぶりをかけている証拠。何をどう迷っているのか、心の迷いを書いてほしい。

受入先からの（生徒への）アドバイス

外部の目線で評価することは大切で、「生徒へのアドバイス」とすると良いことだけでなく、改善すべき点も記載しやすくなる。

先生からのメッセージ

受入先からのアドバイス・先生からのメッセージを読んで考えたこと

※学校で活用している既存の様式があれば、そちらを活用してください。

すでに学校で振り返りの様式等が作成されているのではないかな。しかし、様式のない学校には参考になる。

学校行事等（〇〇について） ※文化祭、体育祭、修学旅行、ボランティア活動等

学年、行事等の内容に関わらない統一の様式を想定しています。

記入日 年 月 日

(事前)

〇〇で特に心がけて取り組もう（自分なりに努力してみよう）思っていること

汎用的な内容となるように以下の項目の文言を変更しています。

そう思った理由

そのために事前に準備すること

(事後)

記入日 年 月 日

自分なりに取り組めたこと、よかったと思うこと

今回の体験・経験で最も心に残っていること

<その理由>

自分が成長したと思うところ

今回の体験・経験を踏まえて、今後に生かしていきたいところ

友人からのメッセージ

行事の事前・事後の度に保護者からメッセージをもらうのは、現実的には難しいのではないかな。特に、学校行事を共に行った友人からのメッセージは、生徒本人にとっても大きな意味を持つのではないかな。

先生からのメッセージ

メッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

※なお、メッセージ欄の様式については、いくつかのパターンが考えられます。（「一年を見通し、振り返る」様式案を参照）